梶田隆章先生（川越高校出身　ノーベル賞受賞）日本学士院会員に

2015年ノーベル物理学賞受賞の梶田隆章先生（東松山出身）がこのほど日本学士院会員（宇宙線天文学）になった。

梶田先生は60歳。会員は100歳の水田洋先生（社会思想史）から90歳代、80歳代、70歳代という年齢構成の中、数学の深谷賢治先生60歳、ノーベル賞受賞の田中耕一先生60歳に並んで梶田先生は最年少。

日本学士院は文部科学省の特別機関。歴史は初代会長を福沢諭吉先生がつとめ、東京学士会院、帝国学士院と変遷し、日本学士院は1948年から。会員身分は終身。

梶田先生の就任は台風被害の東松山市民へパワーやエネルギーを与え、出身校の県立川越高校、埼玉大学の学生には夢と希望をもたらすものだ。